

学校評価一覧表

令和元年度 千代田町立西小学校

評価対象	羅 針 盤		方 策	自 己 評 価 ①			自 己 評 価 ②			
	評 価 項 目	具体的数値項目 (肯定的評価)		改 善 策			改 善 策			
				児童	保護者	職員	児童	保護者	職員	
I 信頼される 学校づくり	1 学校・学年・学級だよりや連絡帳等により、学校のことやお子さんの様子を伝えていると思うか。	①80%以上	・学校だよりや学年・学級だよりの内容の充実と連絡帳等を活用した情報の共有化 ・WEBページの定期的更新・充実	B 85	A 92	A 97	B 81	A 96	A 91	
	2 お子さんの様子など、きめ細かに連絡をとれるような態勢に努めているが、連絡はとりやすいと思うか。	②80%以上	・連絡帳や電話等で、子どもの様子をきめ細かに連絡をする。 ・連絡や訪問しやすい態勢を全職員でとっていく。	C 75	A 95	A 97	C 73	A 93	A 91	
II 確かな学力の 育成	3 資料の提示や発問の仕方等を工夫したり、教科担任制を取り入れたりして授業を行っているが、子どもたちに「わかりやすい授業」になっていると思うか。	③80%以上	・ねらいや発問、板書等教材研究や実態を把握した授業実践 ・ <u>教科担任制を導入した、教科指導の改善、充実</u>	B 86	A 96	A 90	B 86	A 94	A 94	
	4 ちよだチャレンジウィーク等を活用したり、「毎日の家庭学習」を配付して、読書や家庭学習が定着するように指導をしていると思うか。	④80%以上	・自主勉強の仕方を学級通信で示したり、自主学習ノートを紹介したりする。また、「ちよだチャレンジウィーク」等を活用し、家庭学習の活用と定着化を図る。 ・読書指導、読み聞かせ等による読書の習慣化・子どもへの指導とともに、教師の言語環境の改善、率先垂範。	B 85	B 88	B 88	B 81	A 92	B 87	継続指導
	5 <u>本来、英語にかかわる活動は小学校3年生から行うことになっているが、本町では入学前から実施している。このことは、英語への関心を高めることに役立っているか。</u>	⑤80%以上	・ <u>特例校により、1年次から外国語活動を実施している。</u> ・ <u>教科担任制を導入し、専門職員によるわかりやすく、楽しい授業をしつづける。</u>	B 86	A 95	A 97	B 88	B 86	A 97	
III 基本的生活習慣の育成・ 豊かな心の	6 丁寧な言葉遣い、挨拶や返事などができるように <u>指導している</u> と思うか。	⑥80%以上	・機会、場面を捉えての指導(職員室の入退室等) ・ <u>「あいさつ先手」「語先後礼」を意識したあいさつの指導を継続する。</u>	B 89	B 85	A 91	B 88	B 84	A 100	継続指導

育成						・学校外でもあいさつができるように、通信等で「学校でどんな場面であいさつをさせているのか」が保護者に分かるようにし、家庭内でも声がけをし てらせるように働きかけていく。 ・あいさつの指導の継続。					
	7 相手の立場や気持ちを考えた親切な行動や言葉がけができるように <u>指導している</u> と思うか。	⑦80%以上	・朝会や道徳の時間、学校行事をとおしての道徳教育の実践 ・西小よい子のルールに基づく指導	B 86	B 88	A 97	・方策の継続 ・帰りの会などで子供のよい行いを発表する機会を設ける。 ・道徳の授業の様子などを通信で紹介したり、道徳ノートを過程に持ち帰りさせたりする。 ・道徳教育を各教科でも生かす指導を心がけていく。 ・人権週間などを活用し、ふわふわ言葉を学校中に掲示することで、温かい言葉（大切な言葉）を目にする機会を増やす。 ・学活、朝の会や帰りの会等で親切な行動や言葉がけを取り上げるなど、良いモデルを指導に生かす。 ・みんなのお手本となる児童を賞賛し、全体で親切な行動をしていけるよう意識を高める。	B 86	B 88	A 100	継続指導
	8 清掃活動・委員会活動などの体験活動は、「豊かな心」を育む上で役立っているか。	⑧80%以上	・委員会活動、係活動における児童の活動場面の設定 ・清掃活動や奉仕作業等の体験活動の充実・心の居場所づくりと温かな学級づくり	A 95	A 94	A 100		A 94	A 95	A 100	
	9 「いじめ」が起きないような温かな人間関係づくりを学年・学級で指導していると思うか。	⑨90%以上	・教育相談部中心の相談態勢 ・学級満足度調査(C&S)の実施と活用 ・生活アンケートや日常の観察から実態把握に努める。また、「チーム西小」を合い言葉に学年を超えた指導を行う。	B 91	B 83	A 100	・保護者への伝え方を工夫する。 学年だより・学級通信 「なかよしの木」を掲示し、帰りの会等で感謝を伝えた内容を「実」として貼らせていく。(1年は2学期実施予定) ・帰りの会などで子供のよい行いを発表する機会を設ける。 ・C4thの「いいとこみつけ」をさらに活用し、学校全体で児童の様子をみとるようにする。 ・人権週間などを活用し、ふわふわ言葉を学校中に掲示することで、温かい言葉（大切な言葉）を目にする機会を増やす。 ・生活アンケートの中で、うれしかったこと(自由記述)は必ず記入させ、よいことに目を向けられるようにする。 ・保護者の数値が低い。いじめに関する噂など、保護者間で問題が過大に伝わってしまうこともあるので、生徒指導が起きたら早期に丁寧な対応ができるようにこれからも心がけていく。 ・いじめは必ずあるということを前提として、いじめの未然防止、解決100%を目指して組織として対応していく。	B 88	B 81	A 100	継続指導
IV 健康・体力 づくり	10 学校は、食事や睡眠、ゲームの時間など、規則正しい生活習慣が身につくように指導していると思うか。	⑩80%以上	・学校保健委員会や懇談会等と連携した啓発・推進 ・ <u>ゲームの悪影響や睡眠の大切さを学年の実態の実態に応じて、学活等で児童する</u>	B 83	C 78	B 81	・ゲーム時間を減少させるために、学活で指導後、生活表を作成、記入させ、保護者にも啓発を行う。(1年は10月実施予定) ・がんばって食べようカードやすやすやカードを活用していく。 ・チャレンジウィーク表の中にあいさつや就寝時刻などの生活習慣の評価ができる項目を設けることで、生活の見直しができるようにする。 ・授業で使ったワークシートに保護者の方のコメントをもらったり、活用を促	B 78	B 87	A 91	継続指導
	11 学校は授業や休み時間に、積極的に体を動かし、体力をつけるように指導していると思うか。	⑪80%以上	・学校だより、保健だより等における啓発・体育集会、体育の授業で運動の楽しさの体験や運動量の確保 ・休み時間の確保と外遊びの奨励 ・クラスレクの時間を設定するなど、体を動かす								

			時間を意図的に設定する。			したりして指導内容の周知を図る。 ・懇談会を効果的に利用する。 ・児童への指導とともに、懇談会や学年通信や学級通信等で保護者の啓発も行っていく。					
				B 86	B 87	B 83		B 84	A 90	A 91	
V 安全教育の 推進	12 「西小よい子のルール」などを活用して、安全に楽しく過ごせるように指導をしていると思うか。	⑫80%以上	・西小よい子のルールに基づく指導の徹底 ・生徒指導委員会を中心にした積極的な生徒指導	A 91	A 93	A 97		B 89	A 96	A 94	
	13 「不審者対応訓練」「防災・避難訓練」などをおして、安全教育や災害防止に取り組んでいると思うか。	⑬80%以上	・各種訓練、教室の訓練の実施並びに回避能力の育成 ・マニュアルの見直し ・学校だより、学年・学級だよりでの啓発	A 97	A 95	A 97		A 97	A 94	A 97	
	14 事故ゼロを目指し、地区役員と連携した交通安全指導や、登下校時の安全等についての指導をしていると思うか。	⑭80%以上	・朝のPTA、ボランティアと連携した交通指導並びに地区役員と連携した通学班への指導 ・学校、学年、学級での常時指導、歩こうDayの推進 ・「通学班振り返りカード」を活用した校外班への指導の継続。	A 97	A 90	A 97		A 97	B 88	A 94	
VI 将来の夢や 希望の育成	15 「将来の夢や希望」について、学級活動や夢カード等を活用して指導していると思うか。	⑮80%以上	・道徳授業、学級指導等において生き方や夢等に視点を当てた指導 ・学級懇談会等において、保護者への啓発	B 87	B 87	C 79	・キャリア教育等の年間指導計画に沿って、計画的に指導していく。 ・七夕集会において、夢や希望について指導するとともに、家庭へも啓発する。 ・社会科見学において、職業への意識を強めるような指導をする。 ・日記を活用して、夢について記入させる。 ・将来にこだわらず、近い夢（目標）について設定させ、振り返りを行っていく。例えば、学期ごとの目標、行事ごとの目標等。 ・夢カードの実施時期、効果の検証&再検討 ・質問の文言に、学級活動に加え、「道徳の授業」を入れる。 ・道徳の授業、学級指導等において生き方や夢等に視点を当てた指導をしていく。夢カードについては、活用の仕方について見直しが必要。	B 89	A 93	B 87	継続指導
VII 校務分掌組織 の活性化	16 研修主題や研修内容・方法等は学校課題を解決し、 <u>授業改善と教師力の向上に役に立っているか。</u>	⑯80%以上	・研修について、事前に計画や内容の明示、有効な資料の提供 ・管理職による授業参観と参観後の指導 ・一人1授業の実施と相互参観授業の実施			A 100				A 100	
	17 多忙化の解消に向けて、C4thの活用や計画の見直しなど、業務の効率化に向けた取組がされているか。	⑰80%以上	・C4th 掲示板の活用 ・学年学級事務の分担 ・勤務時間実態の把握			C 79	・C4thを、出勤したら毎日必ず確認する。 ・学年担当の得意分野を生かし、補完しあう。共通の掲示板を活用する。 ・C4thの効果的で便利な使い方の研修を行う。 ・業務の見なおしや精査を行う。 ・各主任が中心となって、内容を精選していく必要がある。 ・校内研修の中に占める、「業務の効率化に関する研修」の割合を増やす。 ・研修テーマ等は、4月に決めるようにし、職員がより必要感のある内容で研修ができるようにする。 ・研修の中に作業をする時間を入れる（OJT）。 ・業務内容の精選 ・仕事を分担したり、協力したりしていく。			A 91	継続指導
	18 <u>校務分掌を意識した「チーム西小」で</u>	⑱80%以上	・ <u>校務分掌一覧をもとに、各部内で分担して業務</u>								

新設	協働しているか。		を遂行する。 ・学年主任のリーダーシップのもと、学年会で業務を分担し、協働する。	A 97		A 94	
19 新設	「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域の人的・物的資源を積極的に活用している。	①90%以上	・親子活動の際に地域の外部講師を活用する。 ・読み聞かせ等学校ボランティアを計画的に活用する。	C 72	・活用場面は多々あるので、担当が自覚できるように、年間を通しての活用場面を把握する。 ・様々な活動に対して、学校から地域へのボランティアの募集をする。 ・保護者の方が行事に参加できる場を設ける。 ・活用できる人材等の可視化をこれまで以上に充実させ、教員が常に把握できるようにする。 ・今でもかなり協力していただいていると思うが、いつ、どのような場面で必要かを明確にして募集する。	A 91	継続指導
20 新設	非遵行為による不祥事によって、自身や周囲に与える影響を理解し、その根絶に向けて知識と意識を高めている。	②80%以上	・自身の言動を客観的にとらえ、「心にブレーキを」「当事者意識をもち、自身と向き合う」など、自身の自覚を高める。 ・「管理職の適切な指導」や「校内研修」「仲間同士で声を掛け合う」などを組織的に行う。	A 100		A 100	